

MARÍA FERNANDA ESPINOSA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Former President of the UN General Assembly (2018-19)
- Former Minister of Foreign Affairs and Minister of Defense of Ecuador
- Leading Authority on Global Governance, Climate change, and Gender equality



マリア・フェルナンダ・エスピノーサは2018年から2019年にかけて国連総会の議長を務め、女性としては4人目、ラテンアメリカ・カリブ海諸国出身としては初の議長となった。マリア・フェルナンダは、著名な学者、外交官、政治家、詩人、言語学者であり、エクアドルの外務 貿易 統合大臣や国防大臣など、政府の高官職も務めてきました。

マリア フェルナンダの 30 年以上にわたる広範な専門的ポートフォリオには、学界、NGO、国際機関、政府での役割が含まれています。社会科学、人類学、地理学、アマゾン研究の大学院での研究により、彼女は公共政策、国際関係、持続可能な開発、気候変動、男女平等、先住民族の権利などの分野の専門家としての地位を確立しました。

彼女はエクアドルのアマゾンの先住民コミュニティで働くことからキャリアをスタートし、その後、市民社会組織や学术界で働くようになりました。彼女は、国際自然保護連合 (UICN) で重要な役割を果たし、生物多様性と気候変動政策の顧問を務め、その後地域局長を務めるなど、多国間外交と国際政治問題でスキルを磨きました。彼女はニューヨーク (2008 ~ 2009年) とジュネーブ (2014 ~ 2017年) の両方でエクアドル代表を務め、国連総会議長としての歴史的な在任期間で最高潮に達しました。

外務 貿易 統合大臣 (2007 ~ 2008年および2017 ~ 2018年) および国防大臣 (2012 ~ 2014年) としての役割において、彼女は気候変動に関する国際交渉を主導し、二国間および多国間交渉を確立する上で重要な役割を果たした。協定を締結し、人権と人道基準を重視したエクアドル軍の大幅な改革を実施している。

今日、マリア・フェルナンダは世界舞台でいくつかの影響力のある地位を占め続けています。これらには、変化と包摂のためのグローバル女性リーダーの事務局長、国際危機グループの評議員会のメンバー、国連文明同盟のハイレベル諮問委員会のメンバーが含まれます。彼女はグローバルヘルス女性委員会の委員長でもあり、水の経済学に関する世界委員会の委員でもあります。

2019年に彼女のたゆまぬ努力とリーダーシップが認められ、BBC は彼女を世界で最もインスピレーションと影響力のある女性100人に選出しました。スペイン語、フランス語、英語に堪能な熟練の言語学者である彼女は、国際外交と持続可能な開発に多大な貢献を続けています。

Topics

- Climate Change
- Economics
- Gender Equality
- Geopolitics
- Politics